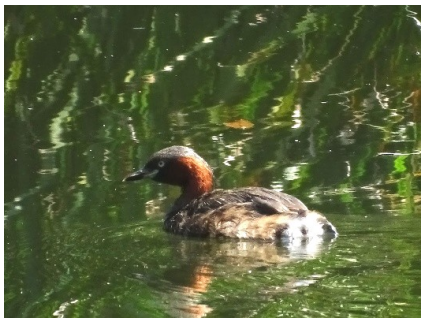
自然観察会

CZVバードウォッチングチーム

観察日：2022/08/17　あめ、2022/8/27　はれ

8月は2日間の自然観察会を実施しました。蒸し暑さが続き、鳥の姿はあまり見られませんでしたが、活発に活動する季節の虫たちの姿を多く観察することができました。

観察できた鳥や虫たち



姿まで確認

ツバメ、カルガモ、キジバト
カイツブリ（親子）、オシドリ

雨上がりの出発となった18日は、今年生まれたツバメの若鳥やアブラゼミが頭上を飛び交っていました。大池では数羽のカルガモがくつろいでいて、カイツブリの親子の姿が確認できました。雨が降った後ということもあり、橋の欄干や木の幹ではカタツムリ（ミスジマイマイ）が活発に活動しており、写真を撮りながらじっくり観察しました。

2回目の観察となった27日は蒸し暑い晴れとなりました。18日に見かけたカイツブリの親子も再び観察することができ、大池に潜った若鳥を見つけるかくれんぼタイムを楽しみました。木陰ではオオシオカラトンボ♀やアカボシゴマダラが見られ、サガミランと思われる白い花が足元に咲いていました。この日はセミの観察を中心に行い、木にとまった姿や抜け殻の比較を行いました。

きょうのワンポイント

サガミラン（おそらく）

観察中では「この花なんだろう」「クゲヌマラン？」と判別ができなかった謎のきれいな白い花。
終了後に図鑑などで調べた結果サガミランかな？と結論が出ました。もしかすると違うかもしれませんが。
サガミランは日本の固有種で、関東に自生しているそうです。腐生植物で根も葉もないランだそうで、絶滅危惧種1B類にもなっているんだとか。もしサガミランだとしたら、豊かな自然が残る大池に貴重な花が咲いたことは誇らしいことですね。